

令和元年度 地域における福祉教育推進研修会

地域でつながる、「福祉」と「教育」

開催要綱

1 趣 旨

今日、地域で顕在化している生活困窮や社会的孤立等、複雑多様化する課題に対応していくには、地域住民全員がお互いの様々な価値観や生き方を認め合うような意識を持ち、支えあう地域づくりを推進していく必要があります。

特に、子どもを取巻く課題は、貧困、いじめ、虐待、発達障がい等による社会からの排除、発達の疎外、学習の遅れ等、学校や家庭だけでは解決できないものが多く、周りの子ども達を含め、住民一人ひとりが互いを認め合い、支えあうことのできる地域をどのように作りあげていくか、共に考えることが重要となります。

このような中、文部科学省においても、子どもを取巻く様々な課題を解決するためには、学校、家庭、地域が連携・協力していくことが重要であるとして、コミュニティスクール[※]の推進を図っています。

そこで、本研修では、学校と地域の協働による「福祉教育」の意義を学ぶとともに、学校や地域で取り組まれている豊かな心づくり、地域づくりの実践を取り上げながら、私たち一人ひとりが支え合う社会を目指してどのような視点に基づいて実践することが必要であるか、共に考え、共に学び合うことを目的として開催します。

2 主 催

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

3 後 援

宮崎県教育委員会

宮崎県市町村教育委員会連合会

4 日時及び会場

(1) 小林会場

令和元年8月7日(水) 午後1時から午後4時30分まで
TENAMU 交流スペース まちライブラリー (小林市細野 1897)

(2) 新富会場

令和元年8月8日(木) 午後1時から午後4時30分まで
総合交流センター「きらり」 大集会室 (新富町大字上富田 6345-5)

5 対 象

教員、住民、民生委員・児童委員、ボランティア、社会福祉協議会職員

6 定 員

60名程度(先着順)

7 講 師

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 野尻 紀恵 氏

8 日程・内容

(内容詳細については今後講師等との調整により変更となる場合があります)

時 間	内 容
12:30~12:55	受付
12:55~13:00	オリエンテーション・開会
13:00~13:05	あいさつ
13:05~14:25	<p>講義（80分）</p> <p>「地域共生社会の実現と福祉教育」（仮）</p> <p>現代社会における様々な課題、特に貧困、いじめ、発達障がい等による学習の遅れ等、子どもを取巻く課題が深刻さを増す中、福祉教育で大切にしている視点（違いを認め合うこと、共に学び合うこと等）について再確認するとともに、「つながりの再構築」を目指して、学校、地域、関係機関がどのように協働して取り組んでいくべきかを考えます。</p> <p>◆講 師 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 野尻 紀恵 氏</p>
14:25~14:40	休憩（15分）
14:40~15:10	<p>事例発表（30分）</p> <p>「地域でつながる、『福祉』と『教育』」</p> <p>福祉教育における「相手を理解し、共に支え合う」という視点を通し、地域が抱える様々な課題に対して、学校と地域が協働して取り組んでいる事例を聞き、参加者自らが「我が事」として捉えるきっかけとします。</p> <p>◆発表者</p> <p>小林会場 「学校と地域との連携による福祉の学び合い」（仮） 都城市立五十市中学校 校長 玉利 勇二 氏 都城市社会福祉協議会 ボランティアセンター 所長 内田 文子 氏</p> <p>新富会場 「かてーりの里 椎葉村 =つながる・つたえる・つむいでく=」（仮） 椎葉村立椎葉小学校 校長 山腰 孝幸 氏 椎葉村社会福祉協議会 地域福祉係 係長 甲斐 恭子 氏</p>
15:10~16:20	<p>グループ協議（70分）</p> <p>講義及び事例発表を聞き、各々が現在抱えている課題を共有し、学校と地域が協働することによって何ができるのか、共に考え、共に学び合う時間とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしが感じる地域の課題 ・学校が取り組んでいること、取り組むべきこと ・地域として取り組んでいること、取り組みたいこと ・学校と地域で協力して取り組めること ・子どもたちが地域から学ぶこと <p>◆進行 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 野尻 紀恵 氏</p>
16:20~16:30	<p>まとめ（10分）</p> <p>日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 野尻 紀恵 氏</p>
16:30	閉会

9 参加費 無 料

10 参加申込方法

別添「参加申込書」に必要事項を記入し、令和元年7月25日（木）までに下記事務局あてに FAX でお申込みください。ただし、先着順で締め切りとします。（締め切りの場合、本会ホームページに公表します。）

11 個人情報の取扱い

市町村名、事業所名、氏名、役職を記載した参加者名簿を作成し、参加者に配布します。その他、参加申込書に記載された個人情報につきましては、本研修の運営のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

12 緊急時（荒天時）等の対応について

緊急時（荒天時）等により開催を中止すると判断した場合のみ、開催日前日の正午までに本会ホームページでお知らせしますので、御確認ください。

13 <小林会場>の駐車場について

8月7日（水）開催の<小林会場>となる「TENAMU 交流スペース」（右図：TENAMUビル 2F）は利用できる駐車場に限りがあります。

出来るだけ乗り合わせていただくか、公共の交通機関を御利用ください。

- ・ A：TENAMU 交流スペース駐車場
（※1F「スーパー松栄」駐車場兼ねる）
- ・ B：小林駅前駐車場

※どちらも無料で利用できます。



14 参加申込み先及び問合せ先

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 地域福祉部
地域・ボランティア課（宮崎県ボランティアセンター）／担当：大山
〒880-8515 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内
TEL：0985-25-0539 / FAX：0985-31-6575
E-mail：vc@mkensha.or.jp

※ コミュニティスクール…地域の方が参画する「学校運営協議会」等の組織を設置している学校のこと。地域の方をゲストティーチャーとして招くなど「地域とともにある学校づくり」を目指します。



welfare

education